

## 2022 年度 個人研究実績・成果報告書

2023 年 4 月 24 日

所属	政策情報学部	職名	准教授	氏名	後藤一樹
研究課題	移動と社会関係の再編成過程に関するビジュアル・ナラティブ研究				
研究キーワード	映像社会学	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	11. 住み続けられるまちづくりを	17. パートナリシップで目標を達成しよう	該当なし	該当なし	

## 1. 研究成果の概要

ビジュアル・ナラティブの方法にもとづき、社会関係のミクロな変容過程を映像によって記録し、分析し、共有する各種プロジェクトを進め、日本社会学会大会等でその成果を発表するなど、一定の成果を生み出すことができた。一方で、移動の観点から社会関係を捉える視座については、コロナ禍という社会情勢もあり、十分に深めることができなかつた。よって、来年度の研究計画の内容を一部見直す必要があると考える。

## 2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

【著書・論文（査読なし）】

【学会発表等】

ダンスと自己変容——踊る実践の撮影と身体のプロジェクション、第 95 回日本社会学会大会、2022 年 11 月 12 日、追手門学院大学

## 3. 主な経費

ビジュアル・ナラティブ研究のための撮影・録音機材等購入に使用した。

## 4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

■千葉県八千代市の小学生から募集した絵日記（受賞 5 作品）を本学部学生が短編映画として制作した「キッズ・ショートムービー・コンテスト」を指導、2022 年 8 月 13 日にイオンモール八千代緑が丘店にて上映したゼミ生の短編映画 2 作品を監修。

■ゼミナール活動として、埼玉県ふじみ野市商店街活性化のための店舗 PR 動画を制作（協力：埼玉県ふじみ野市商店会、一般財団法人地方自治体公民連携研究財団、商経学部蔵田ゼミ）

■ゼミナール活動として、千葉県銚子市の観光名所と銚子電鉄を舞台に銚子地域の魅力を伝えるオリジナルドラマ『未来～約束のルールを敷いて～』を制作（協力：(株)銚子電鉄）

■ゼミナール活動として、1 年間のダンスワークショップを通して自己変容と社会空間のあり方を問うドキュメンタリー映画を制作（上記学会で発表・上映、協力：慶應義塾大学大学院社会学研究科）

■Civitech for 鎌ヶ谷が企画・運営する「千葉商科大学 政策情報学部×鎌ヶ谷 鎌ヶ谷プロモーション DAY!!」（2023 年 3 月 11 日・12 日、鎌ヶ谷市南部公民館）で上映した地域政策研究会所属学生のドキュメンタリー映画制作を指導・監修。

（本文は 2 ページ以内にとまとめること）